



「My Ride のる」は、皆さんから大きな反響をいただき、着実に利用する人が増えています。1月から、実証運行を第3段階へ移行し、さらにバス停や運行台数を拡充します。多くの人が利用することで、バス運行の維持につながりますので、ぜひ「のる」をご体験ください。詳しい利用方法は、12月20日に全戸配布するパンフレットをご覧ください。

1 バス停の増加

バス停を146か所から**237**か所に拡大。

2 土・日・祝日の運行開始

運行時間は**9:00 ~ 14:00**。
(平日は8:30 ~ 15:00)

3 運行台数の増加

運行車両を**2台→4台**に増加。

4 路線バスの移行

「和野線」「千代田・関口線」は
【平日】8:30 ~ 15:00 【土日祝日】9:00 ~ 14:00
に限り「のる」に移行。
ただし、朝夕の時間帯は路線バスが走ります。

※椎名観光バスが運行する路線は変わりません。

お気軽に
お越し
ください



「My Ride のる」利用方法の相談窓口

スマホアプリのダウンロード方法や乗車予約方法などのサポートを行います。またバスカード(茨城交通)の販売も行っています。なお、当日希望する人は、無料で「のる」に乗車することができます。

■松岡地区公民館

12/16 (木) 10:00 ~ 11:30

■山手集落センター

12/16 (木) 13:30 ~ 15:00

■総合福祉センター

1/12 (水)・19 (水)・27 (木)

9:45 ~ 13:00



●プレゼント 商工会取扱店で利用できるクーポン券**2,000**円分

※利用期限は令和4年3月15日(火)まで

●対象者 アプリを使った予約で**2**回以上「のる」を利用した人

●申込方法 「のる」アプリの問い合わせ画面から件名を「商工会クーポン券応募」とし、住所・氏名を記入して送信。

※取得した個人情報、クーポン券の発送以外の目的では使用しません。

●受付期間 R4.1/12(水) ~ 28(金)

●当選者数 先着**100**名(1人1回まで)

※当選者の発表は商品券の発送をもって代えさせていただきます。

■問合せ 高萩市商工会 ☎22-2501

今月号の裏表紙P20にもプレゼント企画があります。ぜひご応募ください。



社 会の成熟化や感染症の影響などにより、働き方や生き方の価値観が多様化しています。特に情報通信技術の普及・発達により、場所にとらわれずに働くなどの就労形態に変化しました。また、住み慣れた高萩に住み続ける、生活や人生を満喫するために高萩に移住する、地域資源を生かして高萩に起業するなど、実

さまざまなライフスタイルが生まれています。人生の選択肢が多様になる中で、市は、若者の支援策の一つとして奨学金返還支援補助を行っています。奨学金の貸与を受けて高校や専門学校、大学などを卒業した新規卒卒の人に、奨学金の返還の一部を支援し本市に定住・移住しやすくするための制度です。



■問合せ 地方創生課 ☎23-2127

高萩にお住まいの人へ 奨学金返還の支援をしています

■補助額 年間最大**20**万円
(5年間で最大100万円)

■申請締切 **12月28日(火)**

奨学金の返還が始まるあなたは、制度に該当？

☒ 高萩市に住んでいる、または住む予定である。

補助金交付申請から令和4年3月31日まで継続して、高萩市に**住民登録**し、現に居住していることが必要です。

☒ 在学中に支援対象となる奨学金を利用し、令和3年度中に返還を開始する**新規学卒者**※。

※新規学卒者とは、学校教育法に規定する高校等程度以上の学校を卒業した人。

(対象となる奨学金)

- ・独立行政法人日本学生支援機構奨学金(第一種・第二種)
- ・茨城県奨学資金
- ・母子・父子・寡婦福祉資金(修学資金に限る) など

☒ 仕事に就いている(公務員を除く)。

常時雇用されている人、個人で農業・その他事業を営む人またはその事業専従者。

☒ 市税などを滞納していない。

◎すべての項目にチェックが付いた人は、市HPで申請方法・必要書類をチェック!



「奨学金の返還を支援していただけるのはありがたいです」と鈴木さん。他県の大学に進学しましたが、卒業後は住み慣れた高萩に戻ってきたと考えていたそうです。現在は高萩に住み、地元の人が多い職場で先輩から学び、仕事の難しさとやりがいを感じています。学生でこれから就職を予定している人は、ぜひこの制度を有効に活用してほしいです。他市に住む友達にうらやむ制度。申請期間を逃さないことがポイントです。

制度を利用した人の声